

福祉のまちづくり  
高齡社会に誇り・味方・居場所を創ろう



森田 ちづこ 議員

介護保険での3割負担の導入と市町村民税課税世帯の利用者負担の上限の引き上げという改悪を盛り込んだ「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法の一部を改正する法律案」が5月26日の参議院本会議で可決され、あつけなく成立したが、

- ① どのように取り組むか。
- ② 施設の待機者、介護施設は増設できないか。
- ③ 認知症対策として、将棋や囲碁、歌やカラオケなどできる集いの場所を増やせないか。
- ④ 介護臨時職員の処遇改善は。

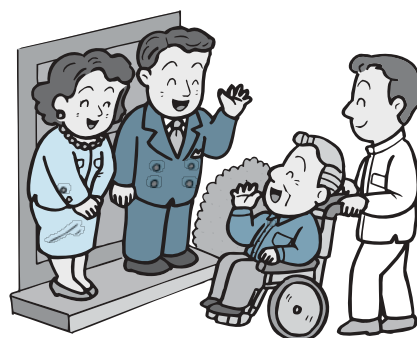


澁谷ほけん福祉課長

① 自立支援・重度化防止に向けた取り組みは、すでに積極的に取り組んでいる。国から提供されたデータを分析し取り組みを深化させていく。

② 待機者数は減少しており、現在計画にはないが、第7期介護保険事業計画策定委員会に諮り、判断する。

③ 高齡者の皆さんが地域で気軽に集える場所が増えるように、関係機関と連携を取って普及啓発に努めていく。



吉良偕楽荘所長

④ 夜勤手当が低いのが、夜勤手当を除く支給額でみると低くはない。今後とも臨時職員の確保に向けて、民間

施設との処遇の差が広がることのないよう、処遇改善の検討をしていく。

森田議員

介護施設の待機者数は減っているが、特別養護老人ホームや軽費老人ホーム、集合住宅のニーズが多くなる。

池田町長

特養への需要や、シルバーハウスとの声も聞いている。

質問Ⅱ 仁淀病院の累積損失11億3105万円  
経営改善の取り組み  
答弁Ⅱ 常勤医師の確保を粘り強く要望  
つづき

森田議員

2年近く事務長が空席である。事務長を任用すべきではないか。

佐でありながら責任ある立場に就けている。

病院経営は、健全化に向けた取り組みや、組織のマネジメント、接客など、多岐にわたっているとこ

池田町長  
現在は事務長補佐が事務長の任務を担っており、補

任も重い。

事務長の任用は、役場内外を問わず、慎重に検討していくべきことと考えている。

質問Ⅱ 伊野循環線バスを音竹に延長を

答弁Ⅱ 音竹の延長は運行の可否について協議中

森田議員

伊野循環線バスの増便。停留所の整備、ベンチや上屋は設置できないか。音竹は交通の手段がないので、バスが回れないかとの声がある。

筒井総務課長

乗客数が減少の傾向が続いており、費用面も考慮し、現行の6便とする。停留所の雨よけやいすなどの設置は、各停留所の現況を確認し、可能な範囲で対処していきたい。

その他の質問

○国民健康保険税の算定方式、町単独事業、短期保険証、資格証明書  
○家族介護支援金の増額